

農場の様子(1月)と 新しい形での授業への対応

皆様明けましておめでとうございます。昨年も多くの小中学校で学校給食にとうきょう元気農場の野菜をご使用いただきありがとうございました。これからも安全安心で美味しい野菜づくりを目指し、生産組合とともに頑張っています。

今回は冬の農場の様子と昨年新たに組み込んだ新しい形の農場見学対応についてお知らせします。

1月に入り、農場も非常に厳しい寒さとなりました。朝方、バケツの水に氷が張っている日も増えてきています。

農場では寒さに弱い野菜はビニールを張って保温しながら野菜を栽培しています。右の写真はビニールをトンネル状に設置し、その中でコカブを栽培している様子です。



0℃を下回る日も多い農場ですが、寒さに強い野菜は寒さに負けず頑張っています。

左の写真は、タマネギとハウレンソウの様子です。タマネギは昨年9月に種をまき、現在10cmぐらいになっています。収穫は6月の予定です。

元気農場では、1月にニンジンとサトイモなどを学校給食へ出荷しました。サトイモは11月に収穫したものを土の中に保存して、出荷に合わせて掘り上げています。

右の写真は出荷に向けてニンジンを段ボールに詰めているところです。秤で重さを計りながら1箱ずつ丁寧に箱詰めしています。



映像提供によるリモート農場見学

新型コロナウイルスのため、開催できなかった農場体験見学会に代わり、急遽、農場内や農産物の収穫作業、生産者への一問一答を撮影し、8分程度の映像にまとめ学校へ提供しました。また、収穫体験予定だったサツマイモを学校へ配送し、家庭学習に役立てて頂きました。生徒の皆様から「色々な機械を使って驚きました」「サツマイモを家で食べて美味しかった」、「草刈りが大変そうだった」など、たくさんの感想を頂きました。